



2023. 11. 10. №1438
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁業振興課
<http://www.sogyoren.jf-net.ne.jp/>

1. 第42回全国豊かな海づくり大会開催！ — 天皇・皇后両陛下がご臨席 —

第42回全国豊かな海づくり大会が、天皇・皇后両陛下のご臨席のもと9月16～17日に北海道の厚岸町において開催されました。大会テーマは「守り抜く 光輝く 豊かな海」。

式典行事は厚岸漁港で開催され、天皇陛下は冒頭のあいさつで「この大会を契機として、人々の海や漁業への理解と関心がさらに深まり、豊かな海づくりの輪が全国へ、そして未来に大きく広がっていくことを願っている」と述べられました。

これに対し、開催地を代表して鈴木直道北海道知事が「豊かな海の恵みを守り、育て、そして次世代にしっかりとつなげていく」と決意を述べました。

大会は功績団体表彰等が行われたのち、坂本雅信大会推進委員会会長（JF全漁連会長）が「海洋環境の変化を乗り越え、水産業・漁村の持続的な発展に一層力強く取り組んでいく」と大会決議を宣言し、満場の拍手をもって採択されました。

式典終了後には野外海上で地元の漁船など10隻がパレードを行い、最後には両陛下と一部参加者により、マツカワとホッケイエビの放流を行い、盛大な拍手に包まれながら大会の幕を閉じました。

次回大会は、来年11月に大分県での開催予定となっています。

2. 第72回全国漁港漁場大会を東京都で開催 — (公社)全国漁港漁場協会主催 —

10月18日(水)13時より東京都の東京国際フォーラムにおいて、第72回全国漁港漁場大会が開催され、全国から関係者約1,300人が参加しました。

大会では、公益社団法人全国漁港漁場協会の高吉普吾会長が主催者挨拶で「地球規模の環境変化などによる漁獲減や、災害の激甚化、漁村人口の減少・高齢化といった難しい問題を克服し、水産業・漁村の持続的な発展を図っていかねばならない。」とあいさつし、関連施策を実行していく重要性を訴えました。

その後、宮下一郎農林水産大臣、笹川博義衆議院農林水産委員会委員長、山下雄平参議院農林水産委員会委員長、衛藤征士郎漁港漁場漁村整備促進議員連盟会長、坂本雅信 JF全漁連会長、枝元真徹大日本水産会会長など来賓が祝辞を述べました。

議事に入り、議長に川添健鹿児島県漁港漁場協会会長(長島町長)を選出。付議議案として提出された「令和6年度漁港・漁場・漁村・海岸整備予算の確保に関する件」に対する提言案として、①漁港機能の再編・強化と養殖拠点の形成による水産業の成長産業化、②海洋環

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

境の変化に対応した漁場整備による生産力の回復、③漁港・漁村・海岸の強靱化による安全・安心の確保と長寿命化対策の推進、④地域資源と漁港を活用した「海業」の推進による漁村の持続的な発展、という4項目を掲げ満場一致で採択されました。

なお、来年の第73回大会は10月に東京都で開催予定となっています。

3. 本会藪田会長が県知事表彰を受賞しました！

県は10月21日に本年度の知事表彰の受賞者・団体を発表しました。

この表彰は地方自治、教育・文化、社会福祉など各分野で県勢の伸展に尽力し、功績が顕著だった者に贈られるもので、県表彰審査委員が審査して決定する、県における最高位の表彰として、1949年度から実施しており今年で75回目となります。

本年度は漁業の発展に尽力するなど地域産業の振興に寄与した功績として、本会の藪田国之会長が栄えある受賞者に選ばれました。

表彰式は文化の日の11月3日に県庁で行われ、受賞者41人と9団体が県知事から表彰されました。

ここに藪田氏に心よりお喜び申し上げ、今後一層のご活躍をお祈りいたします。

4. 大熱海漁協遠藤組合長が受賞！ — 令和5年度静岡県農林水産業功労者表彰 —

県と農林水産業の関係団体で組織する県農林水産業振興会(会長:川勝県知事)は、11月6日県庁西館会議室において令和5年度静岡県農林水産業功労者表彰式を行い、個人の部の受賞者28人に表彰状が授与されました。

水産部門2人の受賞者のうち漁協系統関係者では、遠藤哲也氏<大熱海漁協代表理事組合長>が、漁業経営の安定化に尽力するとともに、要職を歴任し、地域漁業の振興発展に貢献した功績が認められ受賞されました。

ここに遠藤氏に心よりお喜び申し上げ、今後一層のご活躍をお祈りいたします。

5. 桜えび秋漁初水揚げ！ — 由比港・大井川港合わせて約1トンの水揚げ —

11月1日夕方に2023年度桜えび秋漁が初出漁し、安倍川～大井川沖を中心に操業した結果、由比港・大井川港に合わせて76.5杯(約1.1トン)が水揚げされました。

2日早朝に行われた初競りでの平均単価は由比港で約5,786円/kg、大井川港で約4,901円/kgで、全体では5,292円/kgとなりました。今年の秋漁は12月25日までの操業予定となっています。

本紙は、県内の漁業振興を目的に(公財)静岡県漁業振興基金の協力により発行する定期刊行物です。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう